

市民賞に四氏

市政発展や社会福祉に功績



UEDA
柴田 元さん (大塙甲)
昭和10年1月19日生まれ



SAKURAI
笠原 清一さん (下末松)
昭和5年5月5日生まれ



OCHIAI
足利 多美さん (岡豊町)
昭和3年12月1日生まれ



KUBOTA
橋田 憲一さん (片山)
大正9年7月12日生まれ

昭和44年に外科診療所を開業以来、熱意と誠意をもって診療にあたり、誠実的な治療に地域住民の尊敬と信頼を集めている。

また、保健・福祉・健康・医療の一本化の必要性を唱え、保健福祉センターの開設に大きく貢献。さらに、26年間学校医として、児童の保健・疾病予防に力を注ぎ、医師と行政の連携および医療・保健の増進に日夜寄与している。

珠算塾を経営する一方、子ども会の結成に力を注ぎ、昭和41年の子ども会連合会設立後は会長を11年間務めるなど、社会教育の場で活躍。

また、南国地区少年補導員連絡協議会会长、市みんなでほたるを守りましょう会会长や地元小・中学校PTA会長などを歴任し、現在も長岡東部公民館館長など4組織の会長を務め、地域や市民のために献身的に活躍中である。

昭和44年の市母子寡婦福祉連合会の結成とともに、平成6年の役員改選まで同連合会の副会長を務め、会の活動に全力を注ぐ。

また、平成7年から市母子相談員として、母子・寡婦家庭のよき相談者となり、周りの人たちに希望を与える。心の支えとなる。平成4年からは、総務庁行政相談委員として活躍。その卓越した手腕を生かし、市民の相談を受けている。

昭和36年4月から平成9年1月まで36年間にわたり市国保運営委員として活躍。

また、昭和53年から19年間法務省人権擁護委員を務め、各種相談に応じるとともに、市人権擁護委員会の代表者として人権啓発の事業に意欲的に取り組む。このほか多くの公職を務め、市政はもとより、家庭の稲作や野菜などの生産にも情熱を注ぎ、第農家として他の模範となる。

11月3日、「第29回南国市民賞」の授与式が行われました。

市政発展や医療活動、社会福祉、社会教育などの分野で顕著な実績と功績が認められたもので、今後のますますの活躍が期待されます。受賞者は、次の皆さんです。



2002年 よさこい高知国体 推進リーダー委嘱式



11月5日、市役所で「第57回国民体育大会(高知国体)」の南国市の推進リーダー委嘱式が行われました。

県内で委嘱される人は、2002年にちなんで2002人いますが、このうち南国市では87人(男性55人・女性32人)に委嘱状が手渡されました。

推進リーダーの役割は、県民総参加の大会として成功させるために、広報活動や花火大会、および大会当日の交通案内・式典の運営補助など多岐に渡り、国体運営のボランティア活動の中心的な役割を担います。

■南国市開催競技・場所

競技名	種別	開催場所
ライフル射撃	全種別	県警察学校射撃場
サッカー	少年男子	市南部総合運動広場 (高)スポーツアリーナ(兼)
バドミントン	全種別	市総合体育館
バスケットボール	少年女子	岡豊高校体育館 農業高校体育館
スポーツ芸術		歴史民俗資料館

■農業委員会
農家の利益代表

農業委員会は、農地の売買や転用などの許可、農業・農業委員会事務局まで

■資格のある人とは
新しく農業を始めた人で、申請用紙が郵送されなかつた農家的人は、農業委員会と連絡してください。提出のないときは、選挙権が得られないことがあります。

■農業委員会
農家の利益代表

農業委員会は、農地の売買や転用などの許可、農業・農業委員会事務局まで

■資格のある人とは
選挙人名簿に登載される資格者は、次の要件をすべて備えている人です。
①市内に住所のある人
②満二十歳以上である人
③平成十年三月三十一日現在
④(3)の人と同居している親族、またはその人の配偶者で、耕作の農務を営む人
⑤(3)の人と同居していない親族、またはその人の配偶者で、年間おおむね六十日以上耕作に従事する人

■申請期限
1月10日(土)まで
提出先 農業委員会事務局

農業委員会からのお知らせ

行政機関です。

農業委員は、農業者にとつて身近な味方であり、大切な農地を守り、農業全般についてのよき相談相手でもあります。皆さんの権利を公正に行使することにより、立派な農業委員を選ぶことができます。